



先輩職員からのメッセージ

Part①



【所属グループ名】 くらしサポートグループ



【入職の動機・きっかけ】

大学在学時に授業で地域福祉について学ぶ機会があり、地域住民と協力し地域の福祉の向上や福祉に関する新たな取り組みを作り上げていく活動がとても新鮮で自身もその一員になりたいと考えようになりました。社会福祉協議会では、地域住民と関わる機会も多く、地域福祉について共に学び、実践したいと考えたことが、入職のきっかけです。

【今の部署の仕事について】

現在は権利擁護推進事業を担当しています。能美市の成年後見制度の利用促進を図るため、出前講座などの広報活動を積極的に行ったり、成年後見制度を利用したいと相談に来られた方への支援などを行っています。

日々、「成年後見制度を利用したい」「今後のために知っておきたい」という理由で多くの相談がよせられています。悩みや不安を抱える方が気軽に相談できる環境になるよう心がけています。

私自身まだまだ学ぶことが多いため、戸惑いもありますが、一人で悩まず連携をとりながら対応しています。

【プライベートとの両立】

プライベートでは家族や友人や趣味の時間をしっかり確保できメリハリのある生活を送ることができています。

仕事とプライベートの両立がしやすい環境です。

【ある1日のスケジュール】

8:30	メール・書類チェック 等
10:00	訪問 訪問後の記録や関係機関との連携・ 情報共有
12:00	昼休憩

13:00	ケース会議
16:00	出前講座
17:15	翌日の業務の確認 終業

【(入職後の)経歴】・・・9年目

福祉のまちづくりグループ
(ボランティア業務、団体事務(老人会等))
能美市寺井あんしん相談センター
(介護予防支援及び包括的支援事業)

くらしサポートセンターのみ
(生活困窮者自立相談支援事業、権利擁護推進事業)



先輩職員からのメッセージ

Part②



【所属グループ名】 在宅支援グループ

【入職の動機・きっかけ】

学生時代に社会福祉協議会の存在を知り興味を持ちました。調べていく中で、地域住民が互いに支え合う活動を支援し、より良いまちづくりに貢献で仕事だと知り魅力を感じました。また、能美市が地元であることや土日祝日がお休みで働きやすそうな点も志望するきっかけになりました。



【今の部署の仕事について】

寺井あんしん相談センター（地域包括支援センター）に配属となり2年目です。

寺井あんしん相談センターは、高齢・障がい・生活困窮などについての総合相談窓口です。地域にお住まいの方の困りごとをワンストップで受け止め、各種制度やサービスを紹介したり、適切な機関に繋げています。

また、介護予防が必要な方の状況に合わせて、適切な介護予防サービス計画を作成し、支援を行っています。

【プライベートとの両立】

休日は野球中継を見たり、ジムで体を動かし汗を流しています。地域の方を相手にしているため休日に仕事が入ることもたまにありますが、たいてい事前に日程が分かるため予定は立てやすいです。

【ある1日のスケジュール】

8:30	1 日スケジュール確認 等
9:30	訪問：認知症疑いの高齢者宅へ訪問。 ご本人の生活状況を確認し、ご家族の 気持ちを傾聴
11:00	事務所へ戻り、センター内で課題の共有 と支援策を検討。システムに記録を入力
12:00	昼休憩

13:30	訪問：介護予防ケアマネジメントを担当している 利用者宅へ訪問。サービスの利用状況確認 や新たな課題がないかアセスメント
14:30	事務所に戻り、記録を作成
15:00	来所相談：高齢者とその家族が来所。介護認定 を受けて生活を支援してほしいとのこと。 介護保険の制度やサービス内容について説明し、 申請手続きを行う
16:00	相談対応後、市役所へ提出する書類を作成
17:15	一日の記録をまとめ帰宅準備。終業

【（入職後の）経歴】 … 8年目

福祉のまちづくりグループ
能美市いきいき共生課へ出向
在宅支援グループ



先輩職員からのメッセージ

Part③



【所属グループ名】 在宅支援グループ



【入職の動機・きっかけ】

以前、認知症対応型グループホームに勤務しており、施設内での勤務が主でしたが、介護支援専門員の資格を取得後、在宅での支援に対しても興味が湧き、当時の能美居宅介護支援事業所の応募に目が留まり、応募したことが入職のきっかけです。

【今の部署の仕事について】

寺井あんしん相談センター（地域包括支援センター）に配属されています。
・総合相談・権利擁護・介護予防ケアマネジメント・包括的継続的ケアマネジメント等の業務に従事しています。

【プライベートとの両立】

有給休暇を1時間単位で取らせてもらうことができるため、子どもの行事やイベントにも参加することが出来て、子育てと仕事を両立することができています。
フレキシブルに働くことのできる職場だと感じています。

【ある1日のスケジュール】

8:30	当日スケジュールの確認、回覧書類の確認 担当利用者への電話連絡 総合相談としての、相談対応 担当利用者の計画書作成や評価票作成	13:00	担当利用者もしくは、新規相談者宅への訪問 地域活動支援として、地域のいきいきサロン等への参加 （夏は、熱中症予防の啓発を実施） 支援経過記録や相談記録の入力業務
12:00	昼休憩	17:15	翌日の業務の確認 終業

【（入職後の）経歴】・・・6年目

在宅支援グループの寺井あんしん相談センター
（地域包括支援センター）



先輩職員からのメッセージ

Part④



【所属グループ名】 コミュニティ活動支援センター

【入職の動機・きっかけ】

母が福祉関係の仕事していて、よく話を聞いていたことで、福祉には興味があり、福祉系の大学に進学しました。卒業し、困っている人の力や支えになりたいと思ったことが入職のきっかけです。



【今の部署の仕事について】

現在、CSW として、地域からの相談や声を聞き、個別に必要な支援につなげたり、地域のネットワークづくりなどに取り組んでいます。以前は、くらしサポートセンターのみに所属しており、生活に困っている方の支援や令和 6 年能登半島地震により、能美市へ避難してきた方の支援をしていました。

その経験を活かしながら、地域の課題や活動について、住民の方と一緒に向き合い、地域づくりに努めていきたいと思っています。

【プライベートとの両立】

旅行が好きなので、いろいろなところへ行き、景色をみたり、おいしいものを食べたりしてリフレッシュしています。それと、猫を飼っているので、毎日モフモフと触って癒されています。

【ある1日のスケジュール】

8:30	出勤・メールチェック
9:00	事務作業 (地域福祉委員会活動連絡会資料準備)
12:00	昼休憩

13:00	地域福祉委員会
15:30	地域福祉委員会報告書作成
16:00	事務作業 (地域福祉委員会活動連絡会資料準備)
17:15	翌日の業務の確認 終業

【(入職後の)経歴】… 6年目

くらしサポートセンターのみ
福祉のまちづくりグループ



先輩職員からのメッセージ

Part⑤



【所属グループ名】 ボランティアセンター



【入職の動機・きっかけ】

福祉に関して興味をもち始めたのは高校生の頃でした。当時は漠然とした気持ちで福祉について考えていましたが、大学生となり、地域の中で多くの方々と接する機会が増えたことで、地域福祉への関心が強くなりました。福祉は終わりのないテーマとして考えていく中で、社会福祉協議会では幅広く福祉を知ることができ、経験を重ねていくイメージがあり、入職に至りました。

【今の部署の仕事について】

現在はボランティアセンターとして、市内のボランティア活動の推進につながる事業や、相談支援を行っております。市内には多くのボランティア活動に携わる方がいらっしゃいます。それぞれの方がやりたいこと、実現したいことを一緒に考え、行っていくプロセスにやりがいを感じています。私自身いろいろ知らないことも多くありましたが、ボランティアの方、地域の方に多くのことを教えてもらいながら日々がんばっています。また福祉教育についても力を入れており、学童期から子どもたちに福祉の魅力を伝えながら、一緒に福祉ボランティア活動に取り組んでいけることについても楽しさを感じております。

【プライベートとの両立】

実際に地域や個人のお宅など現場に出る機会が非常に多く、毎日の変化を楽しめる仕事だと思っております。様々な知識や、臨機応変に対応する場面なども必要となりますが、自分で考える力も培われるので勉強になります。職場は同年代から経験豊富な先輩方など色々な世代の方がおりますが、フラットに関われる雰囲気の魅力だと思います。土日の休みの他、必要時のお休みも取りやすいので、趣味などのリフレッシュに使う事もでき、疲れと気持ちの切り替えができるのも良い点です。

【ある1日のスケジュール】

7:30	中学生のボランティアチャレンジ体験事業
9:00	高校生のボランティアチャレンジ体験事業
11:00	大学生のボランティア学習のため、地域のボランティア団体の活動に参加
12:00	昼休憩

13:00	研修
17:15	翌日の業務の確認 終業

【(入職後の)経歴】・・・9年目

福祉のまちづくりグループ
(ボランティア業務、団体事務(老人会等))
県外の社協に勤務
(第1層 SC、CSW、ボランティア業務)

在宅支援グループ
(生活困窮者支援、権利擁護事業等)
能美市いきいき共生課へ出向
(生活困窮者支援、権利擁護事業、高齢者虐待対応、地域福祉業務)
福祉のまちづくりグループ(R7年よりボランティアセンターに名称変更)
(ボランティア業務、障害者支援事業、地域福祉活動計画)



先輩職員からのメッセージ

Part⑥



【所属グループ名】 コミュニティ活動支援センター

【入職の動機・きっかけ】

大学時代に、知的に障がいのある方のスポーツ支援（スペシャルオリンピックス：SO）に参加し、障がいのある方と関わる中で「人を支える仕事がしたい」と思ったことがきっかけです。

生まれ育った能美市で、地域の方のために何か出来ることはないかと思い、能美市社会福祉協議会を選びました。



【今の部署の仕事について】

CSW（コミュニティソーシャルワーカー）として、日々、地域の方と寄り添いながら、地域福祉の推進に携わっています。主に、民生委員・児童委員の事務局や地域の居場所であるいきいきサロンの事務等を担当しています。また、各町（内）会単位で地域の見守り・助け合い活動等について話し合っている地域（地区）福祉委員会にも参加し、地域福祉について住民の方と一緒に考えています。日頃から、地域をよりよくするためにはどうしたらよいのかを考え、それをもとに地域に関わっていくことにとってもやりがいを感じています。

【プライベートとの両立】

自分は、オンとオフの両立を意識しています。業務内では、地域福祉について一生懸命に取り組み、プライベートでは、趣味であるランニングを行ったり、自然が好きなので、登山等で自然を感じたりなど、リフレッシュしています。

【ある1日のスケジュール】

8:30	メール・スケジュールの確認
11:00	事務作業 （電話・窓口対応、資料の作成 等）
12:00	昼休憩

13:00	民生委員・児童委員定例会の会場準備
13:30	定例会の開催
15:00	事務作業 （電話・窓口対応、報告書作成 等）
17:15	翌日の業務の確認 終業

【（入職後の）経歴】 … 5年目

福祉のまちづくりグループ